



発行：豊島区都市計画課

電話03-3981-2613(直通)

パームス東池袋まちづくり協議会 全体まちづくり検討会へ正式参加

〈全体まちづくり検討会の様子〉

平成26年6月19日(木)午後7時から、第10回全体まちづくり検討会を開催し、24名の方々にご参加いただきました。

検討会では、パームス協議会よりC地区のまちづくり検討に正式に参加するとの表明がありました。

その後、各協議体の取り組み、今年度のまちづくり検討会の進め方、スケジュールについて意見交換を行いました。



◆ 各協議体からの現状報告

- 5月17日に行われた管理組合の臨時総会でC地区のまちづくり検討へ参加することを決定した。(パームス協議会)
- 8月中にはパームス協議会として、まちづくりについての要望等を意思決定したい。(パームス協議会)
- パームス協議会のまちづくりへの参加については、まだ理事会で議論していない状況である。(C1準備組合)
- パームス協議会とは勉強会を今まで3回行っている。今後も勉強会を続けてまちづくりの検討を深めていきたい(C2準備組合)
- パームスが参加表明を行ったことでまちづくりに動きが出て、まちづくりに関しての選択肢が増えることを歓迎している。(南ゾーン協議会)

◆参加者の主なご意見

- まちづくりは広い範囲で考えることだが、事業とまちづくりは違う点があり、スケジュールが重要な視点であるため、事業はそれぞれの協議体のスケジュールに合わせて、それぞれの協議体の区域で行っていけばよいのではないか。(C1地権者)
- C2地区は平成27年中の都市計画決定を目指しており、地区内の建替え希望者にはそれまで待ってもらっている。平成29年度の都市計画決定のスケジュールでは地権者に説明できないし、納得できない。地区全体でのルール作りを速めれば、各協議体で事業は進められるのではないか。(C2地権者)
- パームスが参加表明を行ったことでまちづくりに動きが出て、まちづくりに関する選択肢が増えることを歓迎しており、C1、C2、パームスの動きを見ながら行動していきたい。(C3地権者)
- 理事は積極的に活動しているが、区はC地区のまちづくりについて真剣に考えているのか。区が積極的に動かないから反対者も減らない。もっと積極的に協力して欲しい。(C2地権者)
- 地区計画はC地区全体でしか認めないのか。まちづくりを全体で考えることには理解できるが、個別での地区計画は認めないのか。(C1地権者)
- 反対している地権者については第三者からの説得がないとなかなか進まない。区はもっと地権者にまちづくりについて説明をしたほうがよい。(パームス地権者)

(豊島区)

- 拙速にまちづくりを進めようとして都市計画協議を急いだとしても、その後の事業で強硬な反対ができれば、事業は頓挫してしまう。長いように見えるが、各協議体が検討を深め、賛同者を増やすことが都市計画決定までの道のりが短くなるものと考えている。
- 地区計画はC地区全体で検討するものと考えている。事業については今まで申し上げてきた要件(地権者・面積2/3以上の同意及びどちらか一方は8割以上の同意)を満たせば都市計画協議に応じたいと考えている。
- 今年度の検討会は、検討会の場で各協議体に課題を提示し、その回答を次回の検討会で発表してもらう形式をとることで、検討をスムーズに進めることを考えている。

次回

次回のC地区全体まちづくり検討会は、平成26年7月得下旬の開催を予定しています。ご案内につきましては、別途お知らせいたします。

全体検討会は、C地区の全地権者を対象とした自由な意見交換の場ですので、今までご参加いただけなかった地権者の方も含めて、皆様のご参加をお待ちしています。



【お問い合わせ】 豊島区都市整備部都市計画課拠点まちづくりグループ 稲田・木戸
TEL: 03-3981-2613 FAX: 03-5950-0803
E-mail: A0022603@city.toshima.lg.jp